

マレーシア政府ムフュディーン副首相パゴ地区研究学園都市建設視察
(筑波大学連携プロジェクト紹介)

5月20日、マレーシア政府ムフュディーン副首相、ザイニー次官一行は2018年までに急ピッチで完成予定のマレーシア南部、ジョホールバル・パゴ地区に建設されている研究学園都市を視察された。

学園都市地区では4つの大学 UTM(University Technology Malaysia)、IIUM(International Islamic University Malaysia)、UTHM (University Tun Hussein Onn Malaysia)、PM(Politeknik Malaysia)と UTM キャンパス内に ICL(Imperial College of London)の設置・開設が予定されている。

ムフュディーン副首相は、4大学学長を含め、300名程の参加者、取材陣に対し、3年ほどの期間で、大学完成、キャンパス整備、学生募集などを実施する計画の概要を説明された。

この中で副首相は、教育・研究モデル事業として筑波大学が主導となり UTM/MJIIT との連携により進めている亜臨界水高度廃棄物変換事業（杉浦教授、後藤教授、岩本教授、原教授、甲斐田助教、プラミラ講師他、20名程）と防災センター設置事業（筑波大学宮本教授、杉浦教授、岩本准教授、MJIIT 後藤教授、JICA 梅宮専門家他、10名程）について公に披露された。

さらにザイニー事務次官から、2～3回にわたりこの2つの事業の意義、重要性について説明があった。またザイニー次官は今後の計画の中で再度、MJIIT の後藤雅史教授に藻類エネルギー研究施設を建設する予定であることをお伝えされた。

筑波大学永田学長、ベント副学長、白岩学長補佐、大根田国際室長、久武教授他、多くの関係者による UTM/MJIIT との強力な教育・研究連携、マレーシア政府構想の学園都市視察企画実施、大型プロジェクト計画実施、筑波研究学園都市内研究所紹介・連携方法など多大かつ惜しみない支援に対し、感謝申し上げます。これからは正念場だと考え、関係事業に邁進いたします。

(文責：杉浦則夫)



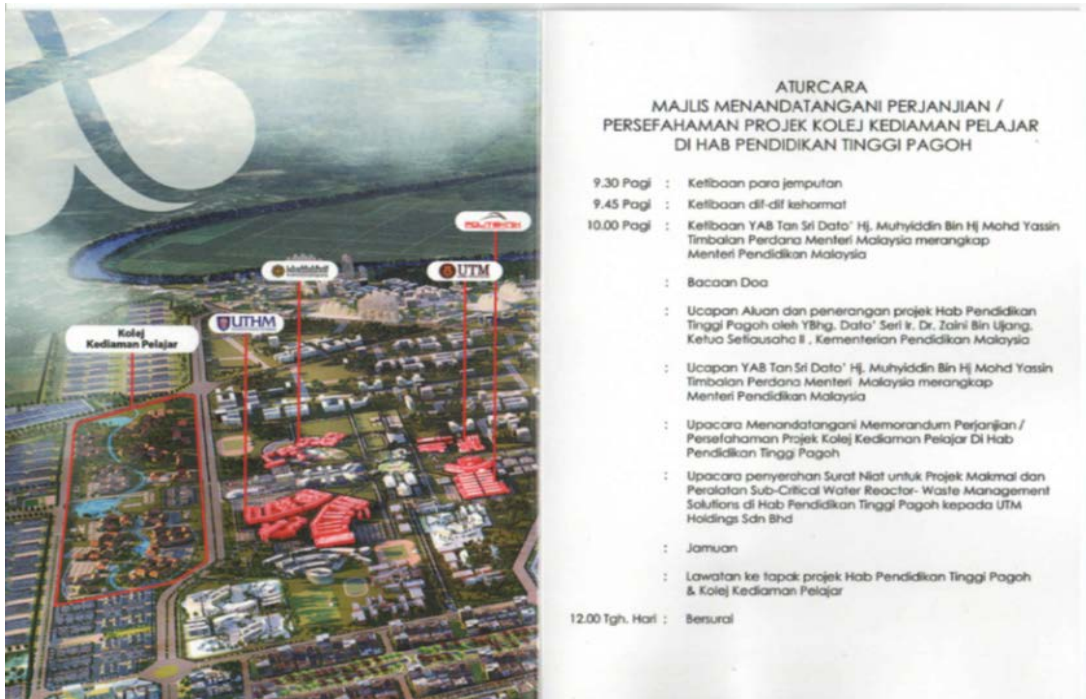
副首相に完成予定学園都市（右パネル）を説明されるザイニー事務次官
左3番目：ザイニー教育省事務次官、
左4番目：マレーシア政府ムフェディーン副首相



ザイニー事務次官の記者・取材会見および学園都市概要説明



ジョホール・パゴ地区大学建設現場



左：学園都市完成予定図、右：開会次第案内（学園都市視察パンフレットより）